

研究・調査報告書

報告書番号	担当
5 1	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Different Alcohol Drinking and Blood Pressure Relationships in France and Northern Ireland: The PRIME Study フランスと北アイルランドの異なるアルコール摂取習慣と血圧との関係 : The PRIME Study より	
執筆者	
Pedro Marques-Vidal, Dominique Arveiler, Alun Evans, Philippe Amouyel, Jean Ferrières, and Pierre Ducimetière	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Hypertension 2001 38: 1361-1366.	
キーワード	
飲酒、血圧、周期性	
要 旨	
<p>曜日ごとのアルコール飲料の消費量が血圧値に及ぼす影響を検討するために、心筋梗塞に関する前向き疫学研究 (the Prospective Epidemiological Study of Myocardial Infarction (PRIME)) のベースラインデータを分析した。</p> <p>分析対象は少なくとも週に 1 度は飲酒する 6,523 人の男性 (5,156 人のフランス人と 1,367 人の北アイルランド人) である。フランスではアルコール消費量は一週間を通じて比較的均一で、週末に少し上昇する程度である。一方、北アイルランドでは金曜日または土曜日のアルコール消費量が一週間のアルコール消費量の 66% を占めている。</p> <p>年齢、Body Mass Index、心拍数、喫煙習慣、教育歴、婚姻状況を調整して検討したところ、北アイルランドの飲酒者における血圧値は月曜日に高く、木曜日にかけて低下していた。一方、フランス人飲酒者の血圧値は 1 週間を通してほぼ一定であった。また、どちらの国でも禁酒者では曜日による血圧値の違いは認められなかった。飲酒者における曜日による血圧値の違いは測定 3 日前のアルコール摂取量で調整すると認められなくなった。</p> <p>北アイルランドの飲酒者で認められる深酒をする習慣が血圧値に影響を与えていて、アルコール消費量に変動がない場合は血圧値に変動は認められないと考えられる。</p>	